



令和6年度 第76回向陽中学校・高校体育祭 開催

9月26日(木)和歌山ビッグホエールにおいて第76回向陽中学校・高校体育祭が開催されました。9月下旬での開催で、猛暑の夏と比べると幾分涼しさも感じられる季節になってきたというもの、まだまだ残暑厳しく、2学期に入ってから体育祭練習もハンディファンの使用など熱中症対策を行いながらのものでした。体育祭本番はエアコンが効いた和歌山ビッグホエールでの開催でしたので、熱中症の心配もなく、思う存分練習の成果を発揮できたのではないのでしょうか。自分の出場種目では全力で競技に取り組み、また、クラスの仲間が出場

している時は全力で応援していました。そんな今年の体育祭で、自分は何の部分で成長できましたか?どんな新しい自分を発見することができましたか?

校長先生は、開会式の挨拶では「今日の体育祭も精一杯楽しみながら、自分が成長する機会にしてほしい。」、「今日一日が、皆さんが大きく成長する機会になればいいなと思っています。」と。また、閉会式の講評では「単なる楽しい思い出というだけに終わらせないでほしい。今日は皆さんが、経験した様々な場面を家に帰ってしっかりと思い出し、そこから学ぶべきことを整理して、明日からの向陽での学校生活に生かしてほしいと思います。」と仰っていました。

9月に文化祭、体育祭という2大学校行事を行い、皆さん一人一人が大きく成長できたと思います。この成長できた部分をしっかりと生かして、学校生活を有意義で充実したものにしてください。



ダートフォード・グラマースクール 来校

10月17日(木)、本校と16年間交流がある英国のダートフォード・グラマースクール(DGS)が来校され、2限目の歓迎式典の後、3限からは1年生環境科学科を中心に交流を行いました。2限目の歓迎式典では、校長が6月に英国を訪問した際、メトカーフ校長と「若い世代に異文化交流をするということは、人間の成長段階において非常に大切なことであること。そして、2校の交流を継続しながらよりよい相互理解の方法を模索していく必要があること。」を確認したことについて触れられました。

日本から出たことがない私(教頭)にとって、世界の国々にどのような文化があり、その中で人々がどのような生活を送っているのかなどは、テレビなどのメディアを通じてしか分かりません。テレビのニュースでは、平和な日本とはかけ離れた映像が流れることがしばしばあります。DGSが来校された翌日の18日、芸術鑑賞会で『地雷探知犬 NEENA』を鑑賞しました。カンボジアを舞台に地雷除去に取り組むボランティア活動を取り上げたものでした。劇の中で「生きるために働く」、「誰かがやらねば」、「平和が一番」という台詞が私の心に残りました。DGSや台湾の西松高級中學との交流経験がある生徒の皆さんに、今一度、「国際理解とは」や、「世界平和とは」について、また「働くこととは」についても改めて考えてほしいと思いました。

トフォード・グラマースクール歓迎会

